

授業UDカレッジ

「授業UD教育士」「授業UD支援士」
資格取得の手引き（2022年度版）

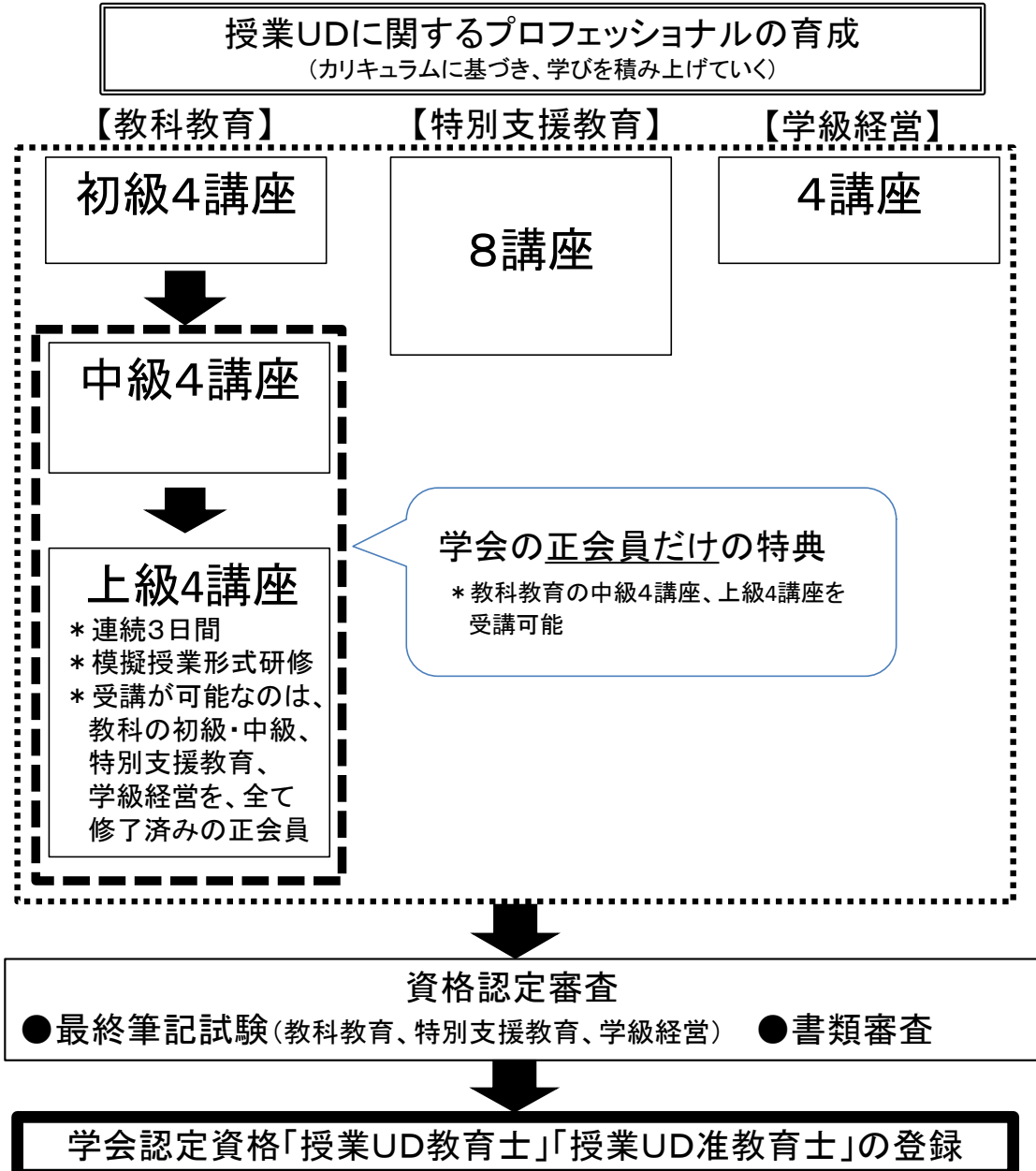
目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 授業UD 教育士養成カリキュラム-2022年度版- | 3 |
| 2. 授業UD カレッジの受講に当たって | 4 |
| (1) 申し込み方法 | |
| (2) 開催日程・申し込み期間 | |
| (3) 参加費 | |
| (4) 開講条件 | |
| (5) 必携資料 | |
| (6) その他・注意事項 | |
| 3. 教科教育（初級）・学級経営・特別支援教育の各講座の受講について | 7 |
| (1) 受講条件 | |
| (2) 参加費 | |
| (3) 開講条件 | |
| (4) 参加申し込み受付 | |
| (5) 注意事項 | |
| (6) その他 | |
| 4. 教科教育（中級）講座の受講について | 8 |
| (1) 受講条件 | |
| (2) 参加費 | |
| (3) 開講条件 | |
| (4) 参加申し込み受付 | |
| (5) 注意事項 | |
| (6) その他 | |
| 5. 教科教育（上級）講座の受講について | 9 |
| (1) 受講条件 | |
| (2) 参加申し込み受付 | |
| (3) 参加申し込み期間 | |
| (4) 参加者への事前連絡 | |
| (5) 事前課題 | |
| (6) 日程 | |
| (7) 修了認定 | |
| (8) 注意事項 | |
| (9) その他 | |
| 6. 授業力アップ講座の受講について | 12 |

| | |
|----------------------------------|----|
| (1) 受講条件 | |
| (2) 参加申し込み受付 | |
| (3) 参加申し込み期間 | |
| (4) 参加者への事前連絡 | |
| (5) 事前課題 | |
| (6) 日程 | |
| (7) 修了認定 | |
| (8) 注意事項 | |
| (9) その他 | |
| 7. 「授業UD教育士」「授業UD支援士」認定の最終試験について | 14 |
| (1) 受験条件 | |
| (2) 審査料 | |
| (3) 申し込み受付 | |
| (4) 試験内容 | |
| (5) 合否の判定 | |
| (6) 注意事項 | |
| (7) その他 | |
| 8. 受講済旧シラバスと新シラバス受講について | 15 |
| 《 資 料 》 | |
| 授業UD カレッジ -2022年度版- シラバス | 16 |

「授業UDカレッジ」学びのビジョン

2020年6月 一般社団法人 日本授業UD学会



- 本学会では、「授業UD教育士」(UD化された授業を実践できる)または「授業UD准教育士」(UD化された授業を説明できる)の資格を認定します。
- 本学会の正会員で「教科教育」を一つ以上選択して、「特別支援教育」「学級経営」、それぞれの講座をすべてを修了し、「資格認定審査」(最終筆記試験と書類審査)に合格した方は、学会認定資格「授業UD教育士(〇〇科)」または「授業UD准教育士(〇〇科)」の登録を申請できます。 ※〇〇科とは教科名です。
- 「授業UD教育士」「授業UD准教育士」の取得後は、5年ごとに資格更新が必要です。

2. 授業UDカレッジの受講に当たって

(1) 申し込み方法

本学会ホームページより、お申し込みください。

〈ホームページ〉 <http://www.udjapan.org/>

- ・事前申し込みが必須です。当日の参加申し込みはできません。
- ・申し込みの際、受講する講座を選択していただきます。当日の講座変更はできませんので、ご注意ください。
- ・ライブ配信によるオンライン講習（Zoom）の申し込みは、半日（90分×2コマ）単位となります。午前・午後で、別のコースを選択することができます。
- ・必ず、お一人ずつお申し込みください。

(2) 開催日程・申し込み期間

2022年度の授業UDカレッジは、以下の日程で開催予定です。それぞれ、決められた期間内に申し込みをしてください。

【教科教育（初級・中級）・学級経営・特別支援】

●第14回授業UDカレッジ

○オンデマンド配信による動画講習（Vimeo）

〈開催期日〉 2022年6月1日（水）～6月22日（水）

〈申し込み切〉 2022年5月30日（月）23時まで

●第15回授業UDカレッジ

○オンデマンド配信による動画講習（Vimeo）

〈開催期日〉 2023年2月4日（土）～2月19日（日）

〈申し込み期間〉 2022年12月上旬から

【教科教育（上級）】

○国語（オンラインZoom）

〈開催期日〉 2022年7月31日（日）・8月6日（土）・8月7日（日）

〈申し込み期間〉 2022年6月4日（土）7時～6月18日（土）20時まで

*定員になり次第、受付終了となります。

*プログラムの変更、開催方法の変更、場合によっては全プログラムが中止となる場合があります。

○算数（オンラインZoom）

〈開催期日〉 2022年7月23日（土）・7月30日（土）・7月31日（日）

〈申し込み期間〉 2022年6月4日（土）7時～6月18日（土）20時まで

*会場の都合により、定員になり次第、受付終了となります。

○社会（オンライン Zoom）

〈開催期日〉 2022年8月14日（日）・8月20日（土）・8月21日（日）

〈申し込み期間〉 2022年6月4日（土）7時～6月18日（土）20時まで

*定員になり次第、受付終了となります。

*プログラムの変更、開催方法の変更、場合によっては全プログラムが中止となる場合があります。

○道徳（オンライン Zoom）

〈開催期日〉 調整中・決まり次第 HP に掲載します。

*会場の都合により、定員になり次第、受付終了となります。

*プログラムの変更、開催方法の変更、場合によっては全プログラムが中止となる場合があります。

3) 参加費

【教科教育（初級・中級）・学級経営・特別支援】

受講料 半日（90分×2コマ） 〈正会員〉3,600円+手数料 〈非会員〉4,100+手数料

【教科教育（上級）】

受講料 3日間 40,000円+手数料

*公費等でお支払いを希望の方は、学会までメールにてご連絡ください。

(4) 開講条件

各講座は、申し込みが一定の人数に達した場合に開催いたします。開催の可否については、授業UDカレッジ開催日の1か月前に決定し、本学会ホームページにてお知らせいたします。

なお、各講座の開講に必要な申し込み人数は、以下の通りです。

【教科教育（初級）・学級経営・特別支援】 30名

【教科教育（中級）】 20名

【教科教育（上級）】 12名

*Zoomによるオンライン開催等の場合は、この限りではありません。

(5) 必携資料

受講の際には、テキスト（授業UDカレッジテキスト、各教科・領域ごと）が必要です。各自ご購入ください。なお、別途、当日資料を配付する場合があります。

(6) その他・注意事項

- ・2020年度から、正会員の方への「修了証」の発行は行いません。受講記録はご自身で管理ください。万一、受講済みの講座がわからなくなってしまった場合には、学会までメールにてお問合せください。（なお、講座の受講時点では正会員ではなかった方が、後日、本学会に入会し正会員になった場合、正会員になる前に受講した講座についても、受講済みの講座として認定されます。）
- ・プログラムの変更、場合によっては全プログラムそのものを中止することがあります。学会ホームページをご確認の上、ご参加ください。

- ・システムの都合上、ご入金後のキャンセルにつきましては、学会までメールにてご連絡ください。なお、キャンセル料は、以下の通りです。

〈入金後～カレッジ開催日7日前まで〉 1,000円

〈カレッジ開催日6日前～当日〉 全額

*主催者側の都合によるキャンセルについては、全額返金となります。

3. 教科教育（初級）・学級経営・特別支援教育の各講座の受講について

開催日程・申し込み期間

●第14回授業UDカレッジ

○オンデマンド配信による動画講習（Vimeo）

〈開催期日〉 2022年6月1日（水）～6月22日（水）

〈申込〆切〉 2022年5月30日（月）23時まで

●第15回授業UDカレッジ

○オンデマンド配信による動画講習（Vimeo）

〈開催期日〉 2023年2月4日（土）～2月19日（日）

〈申し込み期間〉 2022年12月上旬から

〈申込〆切〉 2023年2月2日（木）23時まで

(1) 受講条件

特になし…… 〈正会員〉・〈非会員〉問わず、どなたでも申し込みいただけます。

(2) 参加費

受講料 半日（90分×2コマ）

〈正会員〉 3,600円（手数料含む） 〈非会員〉 4,100円（手数料含む）

(3) 開講条件

教科教育（初級）講座は、授業UDカレッジ開催日1か月前の時点における参加申し込みが、30名に達しない場合、開講しません（対面型での講座開催の場合）。開催の可否については、授業UDカレッジ開催日の1か月前に、本学会ホームページにてお知らせいたします。

*ZoomやVimeoによるオンライン開催等の場合は、この限りではありません。

(4) 参加申し込み受付

本学会ホームページから、参加申し込み・参加費の納入を行ってください。

(5) 注意事項

・2020年度から、正会員の方への「修了証」の発行は行いません。受講記録はご自身で管理ください。

万一、受講済みの講座がわからなくなってしまう場合には、学会までメールにてお問合せください。

（なお、講座の受講時点では正会員ではなかった方が、後日、本学会に入会し正会員になった場合、正会員になる前に受講した講座についても、受講済みの講座として認定されます。）

・個人情報保護のため、録音・録画・写真撮影・スクリーンショットは禁止です。

(6) その他

・領収書は、ご入金確認のメールにURLを記載しております。URLへアクセスいただき印刷してください。

4. 教科教育（中級）講座の受講について

開催日程・申し込み期間

●第14回授業UDカレッジ

○オンデマンド配信による動画講習（Vimeo）

〈開催期日〉 2022年6月1日（水）～6月22日（水）

〈申込〆切〉 2022年5月30日（月）23時まで

●第15回授業UDカレッジ

○オンデマンド配信による動画講習（Vimeo）

〈開催期日〉 2023年2月4日（土）～2月19日（日）

〈申し込み期間〉 2022年12月上旬から

〈申込〆切〉 2023年2月2日（木）23時まで

(1) 受講条件

申し込み時点において、本学会〈正会員〉であり、年会費等が全て納入済であること。

(2) 参加費

| | | |
|-----|-------------|---------------|
| 受講料 | 半日（90分×2コマ） | 3,600円（手数料含む） |
|-----|-------------|---------------|

(3) 開講条件

教科教育（中級）講座は、授業UDカレッジ開催日1か月前の時点における参加申し込みが、20名に達しない場合、開講しません（対面型での講座開催の場合）。開催の可否については、授業UDカレッジ開催日の1か月前に、本学会ホームページにてお知らせいたします。

*ZoomやVimeoによるオンライン開催等の場合は、この限りではありません。

(4) 参加申し込み受付

本学会ホームページから、参加申し込み・参加費の納入を行ってください。

(5) 注意事項

- ・2020年度から、正会員の方への「修了証」の発行は行いません。受講記録はご自身で管理ください。
- ・万一、受講済みの講座がわからなくなってしまう場合には、学会までメールにてお問合せください。
- ・個人情報保護のため、録音・録画・写真撮影・スクリーンショットは禁止です。
- ・講師は都合により変更になることがあります。予めご了承ください。

(6) その他

- ・領収書は、ご入金確認のメールにURLを記載しております。URLへアクセスいただき印刷してください。

5. 教科教育（上級）講座の受講について

開催日程・申し込み期間

○国語（会場：オンライン Zoom）

〈開催期日〉 2022年7月31日（日）・8月6日（土）・8月7日（日）

〈申し込み期間〉 2022年6月4日（土）7時～6月18日（土）20時まで

*定員になり次第、受付終了となります。

*プログラムの変更、開催方法の変更、場合によっては全プログラムが中止となる場合があります。

○算数（会場：オンライン Zoom）

〈開催期日〉 2022年7月23日（土）・7月30日（土）・7月31日（日）

〈申し込み期間〉 2022年6月4日（土）7時～6月18日（土）20時まで

*定員になり次第、受付終了となります。

*プログラムの変更、開催方法の変更、場合によっては全プログラムが中止となる場合があります。

○社会（会場：オンライン Zoom）

〈開催期日〉 2022年8月14日（日）・8月20日（土）・8月21日（日）

〈申し込み期間〉 2022年6月4日（土）7時～6月18日（土）20時まで

*定員になり次第、受付終了となります。

*プログラムの変更、開催方法の変更、場合によっては全プログラムが中止となる場合があります。

○道徳（会場：オンライン Zoom）

〈開催期日〉 調整中・決まり次第 HP に掲載します。

*定員になり次第、受付終了となります。

*プログラムの変更、開催方法の変更、場合によっては全プログラムが中止となる場合があります。

(1) 受講条件

- ・申し込み時点において、本学会〈正会員〉であり、年会費等がすべて納入済であること
- ・申し込み時点において、授業UDカレッジの講座「教科教育（初級・中級）」、「特別支援教育」、「学級経営」をすべて受講済みであること
- ・3日間の全日程への参加ができること
- ・参加が決定した場合、事前に指定教材の指導案を作成できること

(2) 参加費

受講料 20,000円 + 検定料 20,000円 + 手数料 = 40,000円 + 手数料

*なお、過去に上級講座を一度受講した方が、再度申し込みをする場合、参加費は、受講料（20,000円 + 手数料）のみとなります（検定料の徴収は、初回のみ）。

(3) 参加申し込み受付

- ・本学会ホームページから、参加申し込み・参加費の納入を行ってください。
- ・申し込みの際、以下のどちらを受講するか選択していただきます。

- 授業UD 教育士・・・UD化された授業を実施、説明することができる。
- 授業UD 支援士・・・UD化された授業を説明（指導案が書ける、授業の代案が言える）することができる。

*なお、どちらかを選択した上で受講していただき、それぞれの認定基準に満たない場合には、不合格となります。「授業UD 教育士」に不合格となった場合に、「授業UD 支援士」の基準を満たしていたとしても、「授業UD 支援士」で合格することはありません。

*それぞれの合格率は、60%程度を想定しています。合格は決して容易ではないことを予めご了承の上、お申し込みください。

(4) 開講条件

上級講座は、参加申し込みが12名に達しない場合、開講しません。

(ただし、授業力アップ講座の申し込み人数と合わせて12名となった場合には、開講いたします。)

(5) 参加者への事前連絡

参加が決定した方には、開催3週間前までにメールにて、日程、準備物等の詳細をご連絡します。

事前連絡メールには、PDFファイルで、当日についてのご案内(持ち物等)、会場のご案内を添付します。

申し込み時には、確実にPDFファイルが受け取れるメールアドレスのご登録をお願いします。

メールでのやり取りができない場合、参加できません。

(6) 事前課題

上級講座は、授業UDに関する基礎知識があることを前提としています。必ず、カレッジのテキストや授業UD関連の書籍等で、授業づくりの理論と方法について復習してから臨んでください。

(7) 日程

1日目 13:00 ~ 18:00 開講式・自己紹介・模擬授業及び授業検討・ポイント整理

2日目 9:00 ~ 18:00 模擬授業及び授業検討

3日目 9:00 ~ 12:30 模擬授業及び授業検討・閉講式

(8) 修了認定

・合否結果は、後日メールにてお知らせします。

・上級講座に合格すると、「授業UD 教育士」「授業UD 支援士」認定の〈最終試験〉の受験資格が与えられます。

(9) 注意事項

・遅刻・早退は認めません(遅刻・早退の場合、修了認定の対象になりません)。

- ・録音・録画・写真撮影はお断りします。
- ・講座中は、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定するようお願いします。
- ・講師は都合により変更になることがあります。予めご了承ください。

(10) その他

- ・領収書は、ご入金確認のメールに URL を記載しております。URL へアクセスいただき印刷してください。
- ・不測の事態で、開講できなかった場合には、参加費を返金します。

6. 授業力アップ講座の受講について

本講座は、教科教育（上級）講座と同じ内容であり、受講者は、講師の指導のもと、合否関係なく授業力の向上を目指すことを目的とします。

開催日程・申し込み期間

- 国語（会場：オンライン Zoom） 講師：桂 聖（筑波大学附属小学校教諭）
〈開催期日〉 2022年7月31日（日）・8月6日（土）・8月7日（日）
〈申し込み期間〉 2022年6月20日（月）7時～6月30日（木）20時まで
*定員になり次第、受付終了となります。
- 算数（会場：オンライン Zoom） 講師：盛山隆雄（筑波大学附属小学校教諭）
〈開催期日〉 2022年7月23日（土）・7月30日（土）・7月31日（日）
〈申し込み期間〉 2022年6月20日（月）7時～6月30日（木）20時まで
*定員になり次第、受付終了となります。
- 社会（会場：オンライン Zoom） 講師：村田辰明（関西学院初等部副校長）・佐藤正寿（東北学院大学）
〈開催期日〉 2022年8月14日（日）・8月20日（土）・8月21日（日）
〈申し込み期間〉 2022年6月20日（月）7時～6月30日（木）20時まで
*定員になり次第、受付終了となります。
- 道徳（会場：オンライン Zoom） 講師：坂本哲彦（山口大学）
〈開催期日〉 調整中・決まり次第 HP に掲載します。
*定員になり次第、受付終了となります。

(1) 受講条件

- ・〈正会員〉・〈非会員〉は問わない（ただし、申し込み多数の場合には、〈正会員〉を優先します。なお、受講者の決定は先着順で行い、受講の可否の連絡は、申し込み期間終了後にメールで行います。）
- ・3日間の全日程への参加ができること
- ・参加が決定した場合、事前に指定教材の指導案を作成できること

*なお、授業力アップ講座の受講者が、「授業UD教育士」「授業UD支援士」を目指す場合には、受講条件を満たした上で、改めて「教科教育（上級）」の講座を受講することとなります。

(2) 参加費

| | | | |
|-----|-----|------------------|------------------|
| 受講料 | 3日間 | 〈正会員〉20,000円+手数料 | 〈非会員〉35,000円+手数料 |
|-----|-----|------------------|------------------|

(3) 参加申し込み受付

- ・本学会ホームページから、参加申し込み・参加費の納入を行ってください。

(4) 開講条件

授業力アップ講座は、教科教育(上級)講座の参加申し込みが12名に達した場合、開講しません。

(5) 参加者への事前連絡

参加が決定した方には、開催3週間前までにメールにて、日程、準備物等の詳細をご連絡します。
事前連絡メールには、PDF ファイルで、当日についてのご案内(持ち物等)、会場のご案内を添付します。
申し込み時には、確実にPDF ファイルが受け取れるメールアドレスのご登録をお願いします。
メールでのやり取りができない場合、参加できません。

(6) 事前課題

授業力アップ講座は、授業UDに関する基礎知識があることを前提としています。必ず、カレッジのテキストや授業UD関連の書籍等で、授業づくりの理論と方法について復習してから臨んでください。

(7) 日程

1日目 13:00 ~ 18:00 開講式・自己紹介・模擬授業及び授業検討・ポイント整理
2日目 9:00 ~ 18:00 模擬授業及び授業検討
3日目 9:00 ~ 12:30 模擬授業及び授業検討・閉講式

(8) 修了認定

・合否の判定及び、修了の認定はありません。

(9) 注意事項

- ・遅刻・早退は認めません。
- ・録音・録画・写真撮影はお断りします。
- ・講座中は、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定するようお願いいたします。
- ・講師は都合により変更になることがあります。予めご了承ください。

(10) その他

- ・領収書は、ご入金確認のメールにURLを記載しております。URLへアクセスいただき印刷してください。
- ・不測の事態で、開講できなかった場合には、参加費を返金します。

7. 「授業UD教育士」「授業UD支援士」認定の最終試験について

試験日程・申し込み期間

○授業UD教育士（国語・算数・社会・道徳）認定のための最終筆記試験
〈開催期日〉 2023年2月ごろ予定

○授業UD支援士（国語・算数・社会・道徳）認定のための最終筆記試験
〈開催期日〉 2023年2月ごろ予定

〈申し込み期間〉 2021年12月上旬から、2022年2月14日（金）23時まで

*会場は、オンライン Zoom を予定していますが、変更になる場合があります。

*詳細は、カレッジ上級講座合格者へ個別にご連絡いたします。

(1) 受験条件

- ・教科教育(上級)講座の合格者であること
- ・申し込み時点において、年会費等がすべて納入済であること

(2) 審査料

10,000円+手数料

(3) 申し込み受付

- ・ご連絡する申し込みページから、申し込み・審査料の納入を行ってください。

(4) 試験内容（予定）

- ・授業UDカレッジの各講座の講義内容について、理解度を問う問題を出題します。
- ・試験問題は全24問で、すべて選択式の問題です。

(5) 合否の判定（予定）

- ・24問中、16問以上正答の場合、最終筆記試験に合格となります。
- ・試験の結果は、後日メールにてお知らせします。
- ・不合格の場合には、再度受験していただくことになります。

(6) 注意事項

- ・遅刻・早退は認めません。
- ・運営役員の指示に従って、試験を受けてください。試験中の私語は厳禁です。
- ・試験中は、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定するようお願いいたします。

(7) その他

- ・領収書は、ご入金確認のメールにURLを記載しております。URLへアクセスいただき印刷してください。
- ・不測の事態で、実施できなかった場合には、審査料を返金します。

8. 受講済旧シラバスと新シラバス受講について

2020年度より授業UDカレッジシラバスが新しくなりました。

なお、受講済旧シラバスと新シラバス受講について、お知らせいたします。

(1) 社会、道徳、学級経営について

- ・シラバス変更に伴い、講座名・内容に変更がございます。
- ・第9回カレッジまでに、社会コース初級、道徳コース初級、学級経営の講座を、それぞれすべて受講した方は再受講の必要はございません。

(2) 特別支援教育について

- ・第10回カレッジより新シラバス導入により次の「特別支援教育 読み替え表」のとおり、講座の読み替えが行われます。
- ・第9回カレッジまでに、特別支援教育の講座をすべて受講した方は再受講の必要はございません。正会員の方で、未受講がある方は、新講座を含む講座を受講いただく必要がございます。
*単位受講の期限は、第13回カレッジ受講までで終了となりました。

【特別支援教育 読み替え表】

| 第9回までの講座 (旧カリキュラム) | | 第10回からの講座 (新カリキュラム) |
|------------------------------------|---|----------------------------------|
| 通常学級における特別支援教育概論Ⅰ | ⇒ | 学級担任が知っておくべき特別支援教育の基礎知識 |
| 通常学級における特別支援教育概論Ⅱ | ⇒ | 学級担任が使える特別支援教育リソース |
| 発達障害概論 | ⇒ | 通常学級の担任による支援プランの作り方 |
| 感覚・運動のつまずきの理解と通常学級における指導・支援 | ⇒ | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育の視点 (感覚・運動) |
| 学力のつまずきの理解と通常学級における指導・支援 | ⇒ | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育の視点 (学習面) |
| 言語・コミュニケーションのつまずきの理解と通常学級における指導・支援 | ⇒ | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育の視点 (行動・社会性) |
| 社会性のつまずきの理解と通常学級における指導・支援 | ⇒ | |
| 行動面のつまずきの理解と通常学級における指導・支援 | ⇒ | |
| | 新 | 学級担任ができるUD環境の作り方 |
| | 新 | 各教科の指導における個別的配慮の手立ての作り方 |

日本授業UD学会 授業UDカレッジ –2022年度版– シラバス

●国語科教育

| No. | 講座名 | 概要 |
|------|-----------------|--|
| 1 | 初級：国語授業UD 概論Ⅰ | 国語授業UDのポイントについての具体的な理解を図ります。 |
| 2 | 初級：国語授業UD 概論Ⅱ | 仮想事例をもとにして、子どものつまずきを想定した上で、国語授業をUD化する方法について解説します。 |
| 3 | 初級：書くことの指導 | 全員の子どもが楽しみながら書く活動の指導のポイントを解説します。 |
| 4 | 初級：話すこと・聞くことの指導 | 全員の子どもが楽しみながら話したり聞いたりする活動を紹介し、その指導のポイントを解説します。 |
| 5 | 中級：文学（下学年）の指導 | 下学年の文学の授業づくりの基本と応用について確認します。 |
| 6 | 中級：文学（上学年）の指導 | 上学年の文学授業の心情変化や主題に関する指導について確認します。 |
| 7 | 中級：説明文（下学年）の指導 | 下学年の説明文授業に必要なものの見方・考え方を系統的に捉え、文章構造のセオリーや具体と抽象を理解するための指導方法を解説します。 |
| 8 | 中級：説明文（上学年）の指導 | 上学年の説明文授業に必要なものの見方・考え方を系統的に捉え、より論説に特化した文章構造や要旨要約の指導方法を解説します。 |
| 9～12 | 上級「教材研究と模擬授業」 | 模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。 |

●社会科教育

| No. | 講座名 | 概要 |
|------|---|--|
| 1 | 初級：社会科授業UD 概論Ⅰ | 社会科授業をUD化する目的と社会科に難しさを感じる子どもの特徴について説明します。 |
| 2 | 初級：社会科授業UD 概論Ⅱ | 社会科授業における焦点化、視覚化、共有化の目的と方法について説明します。 |
| 3 | 初級：社会科授業におけるスモールステップ化・身体性の活用・スパイラル化・適用化・機能化 | 社会科授業におけるスモールステップ化・感覚の活用・適用化の目的と方法について説明します。 |
| 4 | 初級：社会科授業の発問と板書 | 社会科授業における発問と板書の条件、種類、方法について説明します。 |
| 5 | 中級：社会科の教科書活用 | 社会科授業における教科書活用の方法について説明します。 |
| 6 | 中級：社会科の教材研究 | 社会において教材がそなえるべき要件や教材開発の方法について説明します。 |
| 7 | 中級：単元の展開の構造化 | 社会科授業における単元展開の構造化の目的と方法について説明します。 |
| 8 | 中級：本時の展開の構造化 | 社会科授業における本時の展開の構造化の目的と方法について説明します。 |
| 9～12 | 上級「教材研究と模擬授業」 | 模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。 |

●算数科教育

| No. | 講座名 | 概要 |
|-----|--------------------------|--|
| 1 | 初級：算数科授業UD 概論Ⅰ | 算数授業のUD化のポイントについての具体的な理解を図ります。 |
| 2 | 初級：算数科授業UD 概論Ⅱ | 仮想事例を基にして、子どもをつまづきを想定した上で、算数授業をスモールステップ化・動作化する方法について解説します。 |
| 3 | 初級：算数科授業UD化の視点・方法 | 焦点化、視覚化、共有化の3つの視点に基づいて授業をUD化する方法及びその価値を説明します。 |
| 4 | 初級：「C 測定」領域の指導（低・中学年） | 測定の指導における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまづきについて説明します。また、全員が楽しく参加できる算数的活動について説明します。 |
| 5 | 中級：「A 数と計算」領域の指導（全学年） | 数と計算の指導における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまづきについて説明します。また、全員が深い学びを実現できる算数的活動について説明します。 |
| 6 | 中級：「B 図形」領域の指導（全学年） | 図形の指導における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまづきについて説明します。また、全員が深い学びを実現できる算数的活動について説明します。 |
| 7 | 中級：「C 変化と関係」領域の指導（中・高学年） | 変化と関係における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまづきについて説明します。また、全員が深い学びを実現できる算数的活動について説明します。 |
| 8 | 中級：「D データの活用」領域の指導（全学年） | 新設されたデータの活用の指導について、育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまづきについて説明します。また、全員が深い学びを実現できる算数的活動について説明します。 |
| 9 | 上級：演習（教材研究の指導案作成） | 基本的な指導案についての考え方や書き方、教材研究の仕方について説明します。また、授業を見るときに幾つかのポイントをみなさんと考えます。 |
| 10 | 上級：演習（教材研究と模擬授業） | 単元の指導計画についての考え方や授業構成についての考え方などを説明します。それを踏まえて問題提示の仕方についてみなさんと考えます。 |
| 11 | 上級：演習（教材研究と模擬授業） | 授業を展開するための発問や板書について説明します。また、具体的な場面を想定して、どのように発表させるかについてみなさんと考えます。 |
| 12 | 上級：演習（教材研究と模擬授業） | 発表をさせた後の多様な考えの生かし方について説明します。具体的な場面を想定して、どのようにまとめや発展まで展開するかをみなさんと考えます。 |

●理科教育

| No. | 講座名 | 概要 |
|-----|---------------|---|
| 1 | 初級：理科授業UD 概論Ⅰ | 理科の目標や内容に対する基本的な考え方、見方・考え方を働かせて資質・能力を育成するこれからの理科教育の基本的な考え方について、具体的な事例をもとに解説します。 |
| 2 | 初級：理科授業UD 概論Ⅱ | "全員参加型"の理科授業づくりの基本的な考え方と具体的な方法について、焦点化・視覚化・共有化の視点から解説します。 |

●音楽科教育

| No. | 講座名 | 概要 |
|-----|----------------|---|
| 1 | 初級：音楽科授業UD 概論Ⅰ | 音楽科の授業をUD化するために、「これだけは知っておきたい！」事柄をお話し、それに関する実践事例を紹介します。 |
| 2 | 初級：音楽科授業UD 概論Ⅱ | 「どの子ども楽しめるようにするため」の学ばせ方改革と「全員参加に導くため」のUD化の視点を説明します。 |
| 3 | 初級：「鑑賞」分野の指導 | 「鑑賞」分野の指導について、その目的と意義、方法について、低学年。中学年、高学年それぞれで事例の具体をあげながら解説します。どの子ども、どの先生も、楽しく感じられる鑑賞の授業づくりを目指します。 |
| 4 | 初級：「歌唱」分野の指導 | 「歌唱」分野の指導について、「歌う」という活動に限定することなく、子どもの気付きを促したり、自分なりの考えをもたせるための指導方法や、どの子ども楽しめるような「楽曲と仲良くなるような活動」を実践をもとに解説します。 |

●体育科教育

| No. | 講座名 | 概要 |
|------|--------------------------|---|
| 1 | 初級：体育授業UD 概論Ⅰ | 体育授業の目標と内容の基本的な考え方について解説します。体育授業の構造をもとに、よい体育授業の傾向や条件を解説します。 |
| 2 | 初級：体育授業UD 概論Ⅱ | 「体育授業のUD化モデル」について解説します。「指導の工夫」の3視点と「個別の配慮」、そして3段構えの指導としての「個に特化した指導」について解説します。 |
| 3 | 初級：しかけ | 体育授業をUD化する具体的な視点である10の「しかけ」について解説します。 |
| 4 | 初級：体づくり運動の指導 | 体育授業における基礎感覚づくりの重要性について解説し、体づくり運動との関係において具体的な授業像とともに解説します。 |
| 5 | 中級：器械運動系の指導 | 器械運動の運動をUD化するための重要なポイントを具体的な授業像とともに解説します。 |
| 6 | 中級：ボール運動系鬼遊びとゴール型の指導 | 鬼遊びやゴール型の授業をUD化するための重要なポイントを具体的な授業像とともに解説します。 |
| 7 | 中級：陸上運動系と水泳運動系の指導 | 陸上運動や水泳運動のグループワークを通して子どものつまずきと指導のポイントを理解し、授業づくりの基本と応用について解説します。 |
| 8 | 中級：ボール運動系ネット型・ベースボール型の指導 | ボール運動ネット型・ベースボール型のグループワークを通して子どものつまずきと指導のポイントを理解し、授業づくりの基本と応用について解説します。 |
| 9～12 | 上級：教材研究と模擬授業 | 模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。 |

●道徳科教育

| No. | 講座名 | 概要 |
|------|------------------|---|
| 1 | 初級：道徳科授業UD 概論Ⅰ | 教育基本法や学校教育法における道徳教育の位置付け、道徳教育の全体計画、指導体制、道徳科の目標等を概説した上で、道徳科授業UDの基本的な考え方を説明します。 |
| 2 | 初級：道徳科授業UD 概論Ⅱ | 道徳科授業UDにおいて重視している4要件(焦点化、視覚化、共有化、身体表現化)の具体的な内容、方法、留意点について説明します。 |
| 3 | 初級：内容項目、ねらい、学習内容 | 内容項目の4視点と個々の具体的な内容について概説するとともに、道徳科授業のねらいの意味、構造、内容を踏まえ、道徳科授業が必要とする学習内容について説明します。 |
| 4 | 初級：発問 | 発問の目的や機能、基本的な条件を概説するとともに、具体的な発問を概ね3つに分けて説明します。また、UD化の観点から指示、助言、励ましなどの留意点を説明します。 |
| 5 | 中級：教科書と教材 | 教科書の特徴や活用上の原則を概説するとともに、教材の種類や内容に応じた教材研究の方法、さらに、教材を開発し授業化する上での留意点について説明します。 |
| 6 | 中級：多様な指導方法Ⅰ | 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為の体験的な学習を中心に、言語活動やグループ学習を生かした指導などについて説明します。 |
| 7 | 中級：多様な指導方法Ⅱ | 各学年、学校段階の特徴を生かした指導、情報モラル、現代的な課題、いじめ問題への対応に関する指導、複数時間を関わる指導などについて説明します。 |
| 8 | 中級：評価 | 道徳教育と道徳科の評価の違いを踏まえ、道徳科における子どもの評価について、評価の具体的な内容や方法を説明します。また、道徳科授業の評価について概説します。 |
| 9～12 | 上級「教材研究と模擬授業」 | ねらい、学習内容、学習方法や学習形態などを踏まえ、授業展開や板書等を具体的に計画し、模擬授業を通して、道徳科授業UDについての理解と実践力を一層高めます。 |

【共通コース】

●学級経営

| No. | 講座名 | 概要 |
|-----|----------------------------|---|
| 1 | 学級経営とそのユニバーサルデザイン化に関する基礎知識 | 学級経営の課題を踏まえ、学習指導要領、教育のユニバーサルデザインを視点に学級経営に必要な基礎的な知識と戦略を概説します。 |
| 2 | 学級経営のユニバーサルデザイン化の方法 | 学級経営をユニバーサルデザイン化するための方法論を、学級経営の3領域や人間関係づくりを視点に講義と演習で学びます。 |
| 3 | 学級経営のユニバーサルデザイン化の実践 | 子どもとの信頼関係づくりや子ども同士の間関係づくり、教室における気になる行動、問題行動の対応の具体的実践を踏まえて、ポイントを概説すると共に演習を通して、自分の教室における実践を構想します。 |
| 4 | 学級経営と職員及び保護者との連携 | 学級経営における同僚や保護者との理解を得て連携をする意味やそのための具体的方法、並びに、トラブルにおける対応の原則を講義と演習を通して学びます。 |

【共通コース】

●特別支援教育

| No. | 講座名 | 概要 |
|-----|-------------------------------------|--|
| 1 | 学級担任が知っておくべき 特別支援教育の基礎知識 | 共生社会を構築するためのインクルーシブ教育や特別支援教育の考え方について、またそれらがどのような背景から導入されるようになったのかなどについて概説します。 |
| 2 | 学級担任ができる UD環境の作り方 | ユニバーサルデザイン環境を作るための学級作り、授業作りの基本的な枠組みについて、講義や演習などを通じて学びます。 |
| 3 | 学級担任が使える 特別支援教育リソース | 通常の学級での発達障害のある子どもを含めた学級づくりや環境整備に触れた上で、特別支援教育コーディネーターや校内委員会が果たす組織的役割や、専門機関などのチームでの対応を概説し、資源マップ作成の演習などを通してそれらの理解を深めます。 |
| 4 | 通常学級の担任による 支援プランの作り方 | 通常の学級担任を想定し、気になる子どもに対するアセスメントや基本的な対応、学級全体の子どもを踏まえたユニバーサルデザインでの授業づくり、さらには発達障害等のある子どもへの個別対応や通級による指導、保護者との連携について具体的実践を踏まえて概説及び演習をします。 |
| 5 | 各教科の指導における 個別的配慮の手立ての作り方 | 学習指導要領における「障害のある児童（生徒）などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと」の実現に向けた具体的方法に関する講義・演習を行います。 |
| 6 | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育の視点 (学習面) | 学習面のつまずきに関して実態を把握する方法やアセスメントの方法を知り、通常の学級の日々の指導における個別的配慮のポイントを、講義・演習を通して学びます。 |
| 7 | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育の視点 (行動・社会性) | 行動上のつまずき（たとえば多動、衝動性、パニック、怒りや暴言、友人関係のとりにくさ等）、社会性・対人関係のつまずき、言語・コミュニケーションのつまずきなどについて概説し、通常の学級の日々の指導・支援におけるポイントを講義・演習を通して学びます。 |
| 8 | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育の視点 (感覚・運動) | 感覚・運動・身体面（たとえば姿勢の崩れやすさ、感覚の過敏さなど）のつまずきとその要因について理解し、通常の学級での指導・支援について講義・演習を通して学びます。 |

一般社団法人 日本授業 UD 学会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル 5階 KS フロア

URL: <http://www.udjapan.org/>

E-mail: udjapan.office@gmail.com